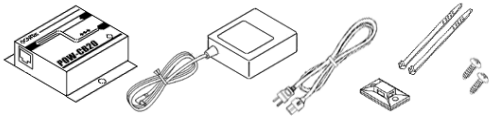
UTPケーブル電源供給ユニット
POW-CB20 取扱説明書

本製品は、カテゴリ5のUTPケーブルを利用して無線LANアクセスポイントへ電源供給を行うためのユニットです。これにより、電源ケーブルの敷設が不要となり、さらに美観の向上を図ることができます。特にアクセスポイントは、電波の特性上、高い位置に設置する必要がありますので、本製品と組み合わせることにより高い設置位置への電源供給が容易になります。
FX-DS540-APまたはFX-DS110-APEに電源供給する場合は、必ずUTPケーブル電源分離ユニットPOW-SP20と組み合わせてご使用ください。

◆商品構成

・POW-CB20 … 1　・ACアダプタ … 1　・ACケーブル … 1　・タッピンネジ … 2
・クランプ … 1　・ケーブルタイ … 2
・取扱説明書 … 1　・シリアルナンバーラベル … 1　・登録カード&保証書 … 1



POW-CB20　ACアダプタ　ACケーブル　クランプ　ケーブルタイ　タッピンネジ

取扱説明書

登録カード&保証書

シリアルナンバーラベル

◆製品仕様

項目	仕様
入力インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX
出力インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX *1
入力電圧・電流(ACアダプタ)	100～240VAC　50/60Hz　1.0A(Max.)
出力電圧・電流(ACアダプタ)	24VDC　0.8A(Max.)
DCケーブル長(ACアダプタ)	1.5m
ACケーブル長	2.0m
使用環境	本体：0～50℃、10～90%RH(ただし、結露しないこと)
外形寸法(mm)	76(W)×74(D)×23(H)　(本体)
質量	430g　(本体＋ACアダプタ)

*1　FX-DS540-AP、FX-DS110-APEに接続する際は、UTPケーブル電源分離ユニット POW-SP20を使用する必要があります。

◆ 対応製品

表1：**対応製品一覧**

製品	POW-CB20直接入力	POW-SP20併用
FX-DS540-APW	○	―
FX-DS540-APD	○	―
FX-DS540-LNK	○	―
FX-DS540-APP	○	―
FX-DS540-APDL	○	×
FX-DS540-APL	○	×
FX-DS540-AP	×	○
FX-DS110-APE	×	○
FX-DS110-APL	×	×

○：対応　×：非対応

－：対応していますが、使用する必要がありません (POW-CB20直接入力にて対応)

◆外観および寸法

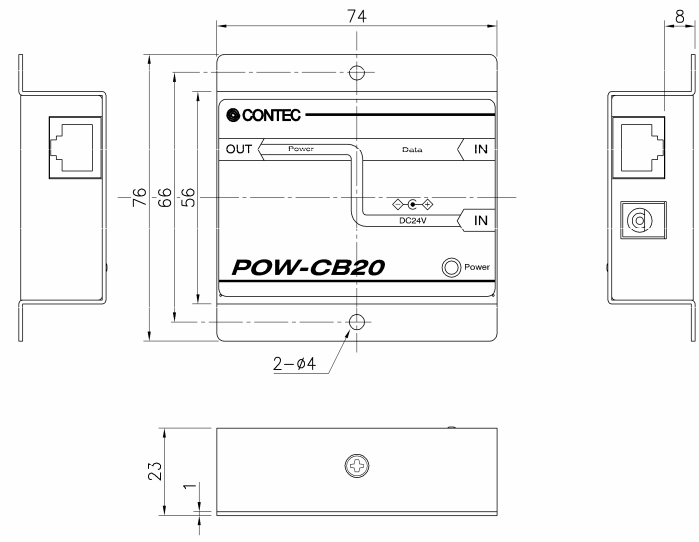


図1：外観および寸法

◆機器との接続例

■FX-DS540APW/APD/LNK/APP/APDL/APLとHUBの接続

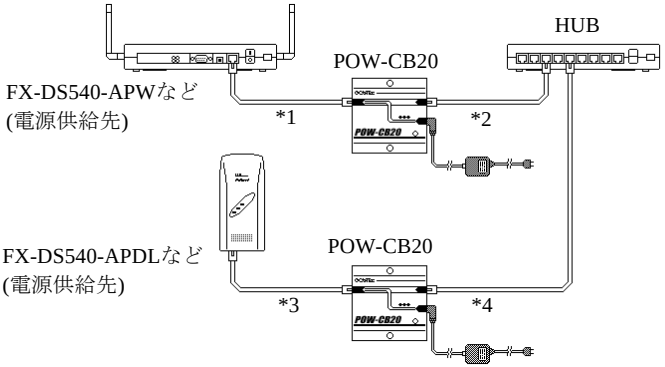


図2：POW-CB20直接入力による電源供給

■FX-DS540-AP、FX-DS110-APEとHUBの接続

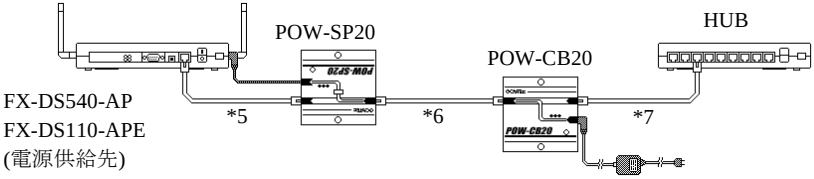


図3：POW-SP20を用いた電源供給

■DCジャック抜け防止

添付のクランプとケーブルタイを使用することで、DCジャックに不可がかかったときのDCジャックの抜けを防止することができます。

本体にクランプを貼り付け、ACアダプタのDCジャックを接続後、クランプとDCケーブルをケーブルタイで固定します。

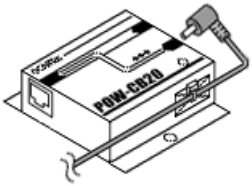


図4：クランプの接続

⚠ 注意

- 電源供給先のAPとHUB(またはパソコン)間のUTPケーブルの全長は、90m(Max.)です。
  図2では*1＋*2≦90(m)、*3＋*4≦90(m)、図3では*5＋*6＋*7≦90(m)となるようにしてください。
- 機器の故障や事故の原因になりますので、POW-CB20の出力側UTPケーブルをHUBなどの機器に接続しないでください。
- FX-DS540APW/APD/LNK/APPでは本体の電源スイッチが有効になります。AP本体の電源ON/OFFは、APの電源スイッチで行います。
- FX-DS540-AP、FX-DS110-APE本体の電源スイッチは無効になります。OFFの状態で使用してください。
- FX-DS540-AP、FX-DS110-APE本体のACケーブルは接続しないでください。
- ACケーブルは、使用される電源電圧およびコンセントプラグに適合したものを使用してください。(添付ケーブルは125VAC用です。)
- 本製品を廃棄される場合、法律や市町村の条令に定める廃棄方法に従って、廃棄してください。

⚠ 注意

- 本書の内容の全部、または一部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店へご連絡ください。
- 製品の移動・譲渡する場合、取扱説明書を必ず添付してください。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益などの請求につきましては、前項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本書中に使用している会社名および製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。

発行　株式会社コンテック　2013年2月改訂
大阪市西淀川区姫里3-9-31　〒555-0025
日本語　http://www.contec.co.jp/
英語　http://www.contec.com/
中国語　http://www.contec.com.cn/

本製品および本書は著作権法によって保護されていますので無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

[10252002]　分類番号　A-46-673
[02152013_rev4]　コード番号　LYBV452